

守り育てる家づくり



変わる生活様式 新時代に備える

昨今の状況で、自宅で家族と過ごす時間が増えた方は多いのではないでしょうが？仕事は家で、子供たちの授業はＷＥＢ、家族揃って食事する機会も増えてきた。ライフスタイル（生活様式）が急速に変化しつつあると言われています。今回はそのようなときに役立つ「ワーケースペース」リフォームについて考えます。

快適な環境づくり

家で仕事をする場合、リビングでパソコンなど作業に必要なモノは何かを考えるこ

コンを立ち上げても、集中するのは難しいものです。「作業できる空間があればなあ」と思うかもしれません。では、どのようにワークスペースがつくれるか考えてみましょう。

リビングの一角にデスクを置いてワークスペースを確保することは、多くの家庭で簡単にできます。簡単な作業やお子様が目の届く範囲で作業をしたい方におすすめです。また最近、よく耳にする「リビング学習」。作業していないときは、お子様の学習スペースを使えますね。

ガラスなどで間仕切りをして小部屋に遮断され、作業に集中できます。間仕切の戸は引き戸などにしておけば、戸を開けて隣接する部屋と一緒に空間にすることも可能となります。

納戸をワーケースペースにするケースもあります。最近は照明がついていることも多く、棚などを改修し、デスクなどを置くことで、作業場へと早変わりします。

家にいる時間が長くなると、水光熱費が増加するため、「省エネ」や「省資源」の視点が大切になります。例としてエアコンを挙げてみますが、生活家電の中でも目覚ましい技術進化が見られ、あくまで日安ですが、最新型を10年前の機器と比べると、省エネ性能が10%以上も高く、電気代が安くなると言われています。

また節水型など省エネ・省資源効果の高いトイレへのリフォームも増えていました。最新のトイレは、水の流れを変えたり、便器の素材を工夫したりすることで、大幅な節水効果があります。「お家時間」が増えた今だからこそ、省エネ効果や省資源効果の高いリフォームを考えみてはいかがでしょうか。

読売不動産は、読売グループ社員・ＯＢの皆様に、ご希望とご予算に応じたリフォームを提案させていただいております。お気軽にご連絡ください。

と。それから、コンセントの個数や場所を検討しましょう。パソコンを置くとデスク周りは、ケーブルで乱雑になりがちに。便利グッズなどでスッキリさせたいところです。たこ足配線は火災の原因にもなるので絶対にやめましょう。照明は調色機能のついたLEDに。作業に集中したいとき、リラックスしたいときなど、シーン別に雰囲気を変えることができます。

長くなる「お家時間」

読売不動産

本社 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル内
大阪支社 大阪府大阪市北区野崎町5-9 読売大阪ビル内

TEL (03) 3217-8309 FAX (03) 5200-1833
TEL (06) 6363-8055 FAX (06) 6316-1400